

PVM-X3200/X2400/X1800 リリースノート

V4.01

1. 適用可能なファームウェア:

PVM-X3200 Ver.2.00 以降

PVM-X2400 Ver.1.04 以降

PVM-X1800 Ver.1.04 以降

ご注意

- ・ 本モニターのファームウェアバージョンは Status メニューの Unit Status で確認できます。
- ・ ファームウェアバージョンが Ver.1.03 の場合は先に Ver.1.04 へアップデートしてください。
- ・ Ver.1.04 のアップデートファームウェアはサポートページからダウンロードしてください。
- ・ Ver.1.04 へのアップデートは約 1 時間 10 分掛かります。

2. ファームウェア情報:

ファームウェア	旧バージョン				新バージョン
Software	1.04	2.00	3.01	4.00	4.01
FPGA1	0084	0143	0230	0370	
FPGA2	0050	0053	0060	0060 (X1800/X3200) 0061 (X2400)	
FPGA3		0032			
FPGA4		1002200			
FPGA5		0B74CC			
CPLD		0003			
Data1		0004			
Data2	0051	0053 (X1800/X2400) 0054 (X3200)	0061	0064	

ご注意

- ・ ソフトウェアと FPGA の両方のアップデートが必要です。本アップデートのモニター1台当たりの所要時間は、下表の通り旧バージョンにより異なります。

旧バージョン	所要時間
V1.04 または V2.00	約 1 時 25 分
V3.01	約 1 時 5 分

3. 準備

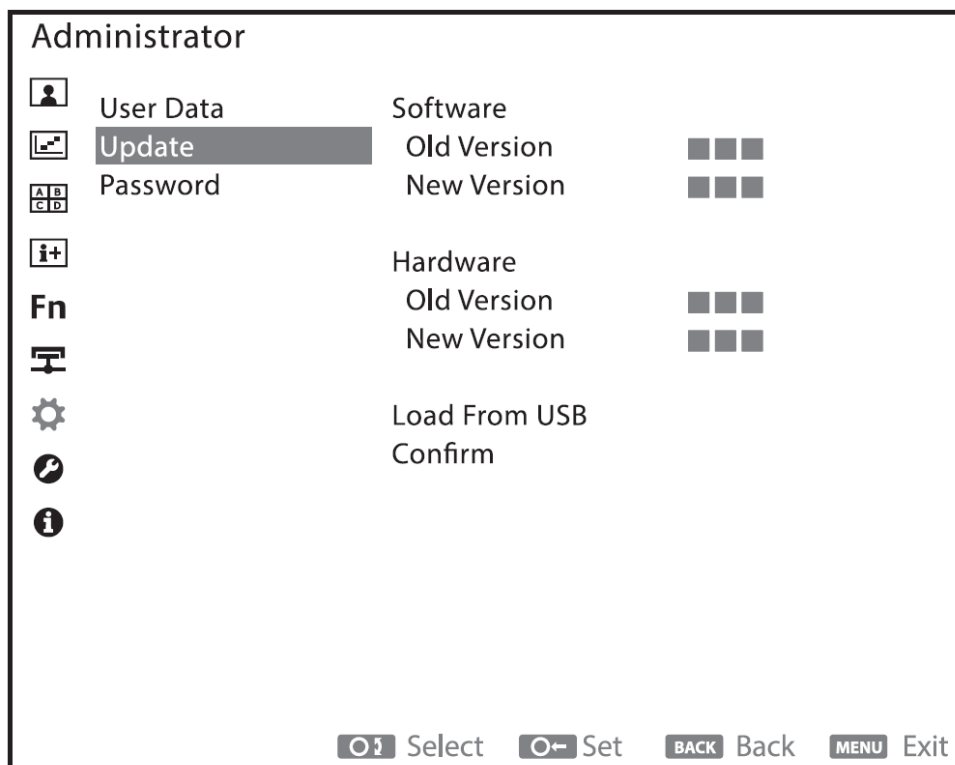
下記の USB メモリーを 1 個準備してください。

仕様: USB 3.0 8GB 以下、FAT32 フォーマット

詳細は PVM-X3200、PVM-X2400 及び PVM-X1800 の取扱説明書の「USB メモリーの取り扱い」をお読みください。

4. アップデート方法:

- ・ ZIP 化されたアップデートファイルをソニーのウェブサイトからダウンロードし、解凍後、ファームウェアの「MSSONY」フォルダーを USB メモリーの直下に置いてください。
 - ・ その USB メモリーをモニター本体の USB 端子に挿してください。
- メニューボタンを押して、オンスクリーンディスプレイメニューを開いてください。
 - Administrator メニューの Update メニューへ進んでください。
 - Load from USB を選び、上記リストを参照の上、New Version に正しいファイルが表示されているか確認してください。



- Confirm をクリックしてください。
- アップデートの所要時間は、下表の通り旧バージョンにより異なります。

旧バージョン	所要時間
V1.04 または V2.00	約 1 時 25 分
V3.01 以降	約 1 時 5 分

- 旧バージョンが V1.04 または V2.00 のときは、すべてのファンクションボタンが 2 度点灯した後、本機の電源を OFF/ON して再起動してください。
旧バージョンが V3.01 以降のときは、アップデート完了後、本機が自動的に再起動します。

詳細は取扱説明書の“Administrator”メニューの Update をご覧ください。

ご注意

- ・ アップデート中は本機の電源を切らないでください。万一アップデート中に電源が切れた場合は、最初から操作しなおしてください。
- ・ アップデート中はファンクションボタンの LED が F5 から F11 に向けて順に点灯します。ソフトウェアのアップデートが完了するとすべてのファンクションボタンが点灯します。しかし、アップデートはまだ終了していませんので電源を絶対に切らないでください。ハードウェアアップデートが直ぐに始まります。
- ・ ハードウェアアップデート中もファンクションボタンの LED が F5 から F11 に向けて順に点灯します。アップデートが終わると、すべてのファンクションボタンが再度点灯します。

5. 変更点:

- ・ Ver.3.01 からの変更点は下記となります。オンスクリーンディスプレイメニューも本変更に応じて変更している場合があります。
- ・ 本アップデートを実行すると、お持ちのモニターは Ver.4.01 にアップデートされます。

ID	新機能	説明
1	タイムコードとエンベデッドオーディオの拡張 SDI 出力対応	SDI の入力信号に重畳されているタイムコードとエンベデッドオーディオ信号が拡張 SDI 出力 (Enhanced Monitor Out.) から出力されます。本信号を収録し、オフライン編集などに使用することができます。
2	3D LUT 変換適用出力ライセンス PVML-TDX1	「拡張 SDI 出力」から、ユーザー 3D LUT 適用後の信号を出力します。

3	信号変換出力ライセンス PVML-SCX1	「拡張 SDI 出力」から、信号フォーマット変換後の信号やユーザーLUT適用後の信号を出力します。
4	IMD（インモニターディスプレイ）機能	外部リモート機能を利用して画面上にソース名やタリー情報を表示させることができます。TSL UMD プロトコル V5.00 に対応。単画面だけでなく、4 画面表示の QuadView（クワッドビュー）や 2 画面表示の Side By Side(サイドバイサイド)にも対応しています。
5	クローズドキャプション表示	HD-SDI に重畳されている、北米のクローズドキャプション（字幕）フォーマットの EIA/CEA-708 及び EIA/CEA-708 上の EIA/CEA-608 に対応しました。
6	クロマアップ	色の濃さを 4 倍にする機能です。カメラ調整に使います。
7	グリッド表示機能	被写体のレイアウトを検討する際に、水平垂直のガイド線を表示します。3x3 から 128x120 まで、間隔の異なる、12 のグリッドタイプから選べます。
8	パラレルリモート	モニター背面のパラレルリモート端子の各ピンにメニューで 7 つの機能を割り付け、操作できます。割り付けた機能を GND に接続するか、離すかで操作します。操作したい機能は入れ替えが可能です。
9	メニュー画面の応答改善	オンスクリーンメニューの応答速度を V3.01 から 20~30%改善しました。

- ・ Ver.4.00 から、下記及びその他軽微な不具合を修正しています。

ID	不具合改善点
10	Quad View において、Screen A 及び D の入力信号フォーマットがインターレースのとき、Screen A/D が画異常になる場合があることの改善。
11	IMD 表示時のモニター動作応答改善

ご注意

- ・ モニターはアップデート後もユーザーデータを保持しています。もし、新しい F Key Preset のデフォルト値を表示したい場合、User Reset をする必要があります。ユーザーリセットをすると、パスワード、All User Data Save されたデータや User LUT1 から User LUT30 のデータ以外はモニターが工場出荷時設定に戻ります。User Reset した場合はセーブされていないユーザーデータはクリアされます。